

八王子

サークル

かわらばん 82

“24年問題”

最近「24年問題」という報道が多くあります。運転手の人手不足が深刻な状況になり、物流に大きな打撃を与えるという問題です。すでに影響は出ています。サークルに参加しているNさんが利用しているバスが減便されたとのこと。これまで翌日配達されていた荷物が、2日後の配達になったりもしています。また、人出不足の問題は、学校教育の場でも深刻です。AIに任せばよいという訳にはいきません。教育においても同様なのですが。

[おもちゃ箱]

「家紋」を切り出す（市橋）

正五角形を土台にした“家紋”を、折り紙を使って切り出します。“さくら”の紋、“ききょう”の紋、“結びききょう”、“清明ききょう”の紋などです。今年は桜の開花が遅く、新年度早々の授業で取り上げるよい教材でした。

[実践報告]

1. 「2次不等式」の授業（名雪さん）

2次不等式の解は、2つの範囲に分かれる場合と1つの範囲で表される場合とがあります。このことに戸惑う生徒もいます。そこで、最初の授業で取り上げるのが「ブエイノスアイレス（アルゼンチン）の月平均気温」です。グラフにすると放物線によく似ています。これを使って、感覚を掴でおこうという訳です。とても面白い導入だと思います。シカゴ（カナダ）のそれは、上に凸のグラフ風になるとのことです。調べてみてください。

また、因数分解をどの数の範囲まで続けるかなども話題になりました。

2. 球面幾何学（増淵さん）

エラトステネス（B.C.276～194）は、地球が球体であるという考えに到り、太陽光線を利用して地球一周の距離を求めたといわれている。

授業では、手作りの道具を使って太陽高度を測った。相当正確な数値が求められて驚いたということである。さらに、学校の位置の緯度を計算で求めたという。

2つ目の話題は、球の表面積を求めた方法である。カラーボールにラップを巻いて、その上にマジックペンで線を引いていく。曲面上の直線（大円）がどんなものかよく分かります。3本の直線で囲まれた三角形を見ながら作業を進めます（省略）。ちょっとやっかいな作業ですが、平面幾何との違いがよく分かり、表面積が求まります。応用問題として、南アフリカ大陸の面積を計算しています。

3. 公立高校附属中学校の試験（適性検査）に（高橋さん）

以前、サークルで楽しんだ「スピログラフ」が出題されたという紹介です。花びらの数と最小公倍数、最大公約数の関係が問題となっていました。

（参加者 4名）

今回は 5月31日（金）18:30～20:30

八王子クリエイトホール（10階）第4学習室

（内容）おもちゃ箱（教具作り）と実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においでください。

※会場費 100円

次回は、6月28日（金）18:30～20:30 八王子クリエイトホール（10階）第4学習室